



# 生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第17号  
イラスト © あべまりあ

発行所  
NPO 法人 天使のほほえみ  
発行人 鎌田久子  
編集人 福島 紀

## 総会・記念講演会・講演要旨

### 大災害は流産児の悲痛な叫びです

理事長 鎌田 久子

五月二十日に総会と記念講演を開催し、無事終了致しました。(総会は別紙参照)今年度も事業計画を確実に実行して参ります。皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

次に当日の講演要旨を記させていただきます。

一今の日本の最大の危機は、日本の国の生命、人の生命に、魂の軸足をしっかり根ざして政治を司る党や議員が稀少になってしまったことです。特に現『母体保護法』改正し、国の生命の存続を図ろうという議員は、何人いるでしょうか?。皆無に等しい現状です。

今の中国は一人っ子政策をとつて止めて、十三億の人口をもつと増やし、他国を侵略して移住させる方策を取り始めました。「沖縄一千万移入」を管政

権は中国に約束しています。日本人(フリーター・ニート族・就職難)の若者をこそ、沖縄に移住させるべきです。

日本の領土(沖縄、竹島、尖閣諸島)・領海は、自衛隊を国軍にして自国の軍隊で国を守ることは当たり前です。

日本は未だ独立国家の体を為していません。米国から押しつけられた現憲法・母体保護法・教育基本法(一部改正)を六十六年間も温存してよいのでしょうか。

この度の東北地方の大災害は、護国の英霊の悲痛な怒りです。戦後殺された一億二千万の流産児が「もう殺さないで!」と叫んでいる象徴に思えてなりません。

岩手、宮城、福島の皆様の被害を識るにつけ、私は『中絶を

止めて!と、もつと多くの人に訴えること……。政治家に法改正を迫る具体的な活動を、急速に展開しなければ。』という思いに日夜かられています。

ピンチはチャンス、今こそ潮時、現憲法は米国が違法を承知で押しつけたもの、大日本帝国憲法はまだ生きています。現・母体保護法は米国が優秀な日本人をジェノサイド(genocide)、皆殺しの目的でルーズベルトが与えたもの、と村田先生のお話(当日の第一講話を参照)で識りました。

二十八年前、旧「優性保護法」改正の署名七百万を衆議院に提出し、可決されたものの、参議院で時間切れで廃案になってしまった苦い経験があります。

その後は誰も、この問題に関して行動を起こしていません。『母体保護法』と言いますが、

中絶は決して母体を保護せず、ノイローゼや自殺者が後を絶ちません。また数人の兄妹が中絶されて、自分一人が大切に育てられた子供は、不登校や無差別殺人を犯したり、家庭内暴力をふるったりします。

少子化対策の決めて、それは「母体保護法」を『胎児保護法』という、たった二文字を改正するだけで宜しいのです!。胎児を十ヶ月胎内で育てる経験を通して女性の魂は、愛深く、すべての生命を慈しむ美しい母性の花を開花するのです。「胎児保護法」実現に向けて、何卒皆様、光の進軍」を急速に開始しましょう。

(二ページ上段に続く)

### お友達をお誘い下さい

年会費 個人 正会員 二千元以上  
賛助会員 五千元以上  
篤志会員 一万元以上  
法人 一口 五千元以上

郵便振替口座  
00100-6-316987  
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

去る三月十一日発生した東北関東大震災は、わが国観測史上最悪といわれる大惨事となりました。ここに犠牲となられた方々に衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された多数の皆さま方に心よりのお見舞いを申し上げます。



(二ページ後段より続き)  
被災地歴訪で天皇様は、冠動脈造影検査をお受けになりながら、皇后様は、平成十九年に膝の靱帯を切つていらしやる等、ご体調が万全でない

総会記念講演会・状況報告

命の琴線に響く両先生の講演内容

副理事長 野田 滋美

五月三十日に平成二十三年度の総会、記念講演会を東京・渋谷区の幡ヶ谷社会教育館にて開催しました。前日からの台風、大雨の予報で心配していましたが、朝10時頃には雨が上がり、12時過ぎには薄日が射す程になりました。天の流産児達が見守り、ほほえんでくれている様に感じられました。(総会報告は別添資料を参照下さい)

講演会は二部構成で、第一講話を外国人参政権に反対する会東京代表の村田春樹先生に、第二講話を当会の鎌田久子理事長に「国のいのち、人のいのち」日本を存続させるために「」を共通テーマにご講演頂きました。

参加された方のアンケート

両陛下が、被災者一人一人に膝をつき、お言葉をかけられるお姿に、私は幾度も感謝の涙を流しました。日本は、歴代天皇陛下の聖なる祈りと、慈愛に支えられて来えてきた

では、「両先生の講演を聞き、母体保護法による胎児中絶の問題が、国の根幹に関わる問題として捉えられた」、「早く母体保護法を改正すべき」との主旨の意見や、「天皇陛下下のいらっしやる日本の国柄の素晴らしさが分かった」等の意見が多くありました。

国会議員祝電メッセージ要約

安倍晋三元総理  
ご盛会をお慶び申し上げ、ご参集の皆様のご健勝とご活躍を祈念します。

・山谷えり子参議

関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げます。いのちが守られ、平和に暮らすこと、素晴らしさを実感し、被災地の一日も早い復興のた

国です。皆様は「天の益人」と讃えられてきた優秀な民族です。「君民一如」の尊い日本の復興姿勢に世界は、賞讃と敬意を表しています。(以下割愛) ★

めに全力で取り組んで参ります。

・有村治子参議

真正保守の政治家として、これからも本道を歩いて参りたいと存じます。

・高市早苗衆議

五周年を迎えての講演会お

総会記念講演会・講演要旨

国のいのち、人のいのち

外国人参政権に反対する会代表 村田 春樹

1. 「母体保護法は、米国が押し付けた日本民族抹殺のジェノサイドであり、この法律に関与していた事がわかれば米国は未来永劫に亘って非難されるだろう」と、当のマッカーサー司令官が本国で書物に記していた事が分かった。彼はカトリック教徒で中絶反対だったが、本国の指令に押し切られた。

めでとうございます。  
・佐藤正久参議  
被災地復興に日本の力の結集が不可欠で、皆様にもご尽力賜ります様、また私も専心努力して参ります。  
欠席届(メッセージ入り) 渡部 昇一、衛藤晟一、村上英子、吉野和之、丸山高司、加瀬英明、山中典士、小林 幸子、小野田町枝  
(メッセージなし) 橋下徹、安倉清藏(千葉市議)、上橋 泉(柏市議)、水島絵、葛目 浩一(敬称略) ★

が、国会議員の所へ行くと思はず賛成派がいて、「日本は人口が減って、外国人の移民を受け入れる必要がある。だから参政権を与えるべきだ。」と理屈を言う。  
現在ハローワークは大量の外国人で溢れている。外国人にも「国民(地球市民か?)年金」も「国民健康保険」も与えられている。「生活保護費」に大勢の中国人が群がっ

ている。みんな日本人の税金が使われている。こんな国がありますか。  
3. 少子化というが、「日本国民を増やす」施策をしているのか。政府、行政はまったくしていない。日本人が増えれば移民など受け入れる必要はなくなる。  
『日本人を増やす方策』を6つ挙げてみます。

①「少婚化+晩婚化」の改善・これが一番の問題だ。  
女性の高学歴化が大きく起因している。20歳卒と22歳卒では、結婚願望と生殖能力の物心両面から2年の差はとてつもなく大きい。

この問題を改善しようとしても、国家の人口が増えると困る国会議員(中韓寄り・ジェンダーフリー)が山ほどいる。「少子化大臣」など止めて、「少婚化・晩婚化大臣」にすべきだ。  
(三ページ上段に続く)



(二ページ後段より続き)

②不妊治療をもっとし易くすべ  
きた。

現在一回50万円かかる。一  
般家庭では何回も治療できず、  
泣いている人が多い。

③引き込みの解消を推進すべ  
きた。

70万人の若者が引き込みつ  
ている。予備軍は155万人い  
ると言われている。最も赤ちゃ  
んを作れる年代の若者である。

④女性の価値観を元に戻すべき  
だ。

「子供を育て上げる事が女性  
の一番の幸せであり、最高に偉  
い所」と教えよう。

⑤過剰な性風俗を取り締る事が  
必要である。

余りに沢山の刺激的写真や動  
画に触れると生殖力が減退す  
る。フリーセックスの国は出生  
率が落ち、性の戒律が厳しい所  
は出生率が高い。イスラムや米  
国のヒスパニック、キリスト教  
でも福音派では出生率が高い。  
日本でも性道徳を厳しくすれば  
良い。

⑥中絶を禁止する事が効果を

収める。

妊娠中絶の同意書は、現在は  
配偶者や親の同意が不要になっ  
ている。「中絶の4割が未成年」  
という現実で、未成年には「親  
の印鑑証明による承諾」や「医  
師の親への連絡」、「配偶者の  
印鑑証明」添付を義務付けるこ  
とも大きな効果を生む。

4. 随胎は良い事ではない。  
赤ちゃんは生きている。イギ  
リスで中絶されてお腹から出さ  
れた胎児が、生き抜いて現在生  
きている人がいる。

中絶した母親の自殺率は、正  
常に分娩した母親の自殺率より  
6倍高い。

5. カトリックが多い欧米では  
中絶を認めるかどうかは国民全  
体を巻き込んだ大問題となっ  
ている。

中絶賛成派は「プロチョイス」  
(子供を選んで産む)、反対派  
は「プロライフ」(生命を大事  
にする)である。

これは米国大統領選の一番の  
争点である。共和党レーガンは  
プロライフ派、民主党オバマは  
プロチョイス派である。米国で  
は両派のにらみ合いから殺人ま  
で起きている。

6. 日本人は連合国によって

完全に洗脳されてしまった。

縛られている事すら分かって  
いない。奴隷と精神奴隷とは違  
う。奴隷は自分が奴隷だと分かっ  
ている。しかし精神奴隷は自分が  
奴隷だと分かっていない。

日本人は、随胎が殺人か殺人で  
ないか、いけない事か良い事か、  
の判断すらできなくなっている。

上野千鶴子というプロチョイ  
ス、フェミ、ジェンダーフリーの  
人間がいる。この女はまじめな顔  
をして、「女は嫁に行くのが一番  
というやつは刑務所にいれる」と  
言った。



第三研修・「性道徳の正常化」  
母体保護法改正の早期実現を

理事長 鎌田 久子

(編集者注・前回字数の関係上  
割愛せざるを得なかった前半の  
部分のみお載せ致します。どう  
ぞ前号と併せてお読み下さい。)

言論弾圧そのものだ。「性の解放  
と結婚の否定は私の使命」、「フ  
エミニズムは性の自由、これが  
基本の基本」とも言った。こん  
な女の言う事が正しいと思いま  
すか。都内の図書館にはこの女  
の本が3246冊も購入されて  
置いてある。図書館はフェミに  
支配されている。真面目な頭の  
良い少女達がこの女の本を読ま  
されて、フェミに染められてい  
る事実は大問題だ。日本人は善  
悪の判断も含め洗脳の縛りを解  
かなければならない。▼7. ベ  
ルギーでは国王が随胎許容法案  
にサインしないとという大事件が  
起こった。上を下への大騒動と  
なった。▼「天使のほほえみ」  
には、日本でも国民全体を巻き  
込むような大論争を巻き起こし  
てもらいたい。★

初めて「天使のほほえみ」運  
動を知った時、私は瞬間に「私  
達の年代がすっかりしていなか  
ったから」と自責の念を覚えま  
した。私達は戦時中女学生生活  
を送り、勤労奉仕

に学徒動員、「産めよ、増やせ  
よ」「撃ちてしまえ」「欲し  
がりません、勝つまでは」の耐  
乏の毎日を送り、弱音も吐かず  
昭和二十年八月十五日を迎えま  
した。男性は戦地へ、女性でも  
私より三、四歳年長者には赤十  
字の看護婦さんとなり戦地に赴  
き、尊い命を捧げられた方、死  
亡通知が実家に届いたのに奇し  
くも帰還できた方などを知って  
いるという、そういう時代に生  
まれ合わせていました。

戦勝国となった米国の占領政  
策は、物資不足に苦しんでいる  
我々に、次々と甘く優しく、救  
援物資や法律を振舞う。「戦争  
に負けるってどんなに恐いこ  
とかと思っていたが、こんなに  
平和で楽しいとは」今まで戦争  
に負けた経験のない日本人の大  
多数は、意地も誇りも忘れたよ  
うに従いました。

(四ページ最下段左に続く)



# 「天使のほほえみ」代々木一泊研修会

## 開催のお知らせ

昨年初めて「天使のほほえみ一泊研修会」を御殿場にて開催致しましたところ、大変な好評を博しました。今年はそれに引き続き全国各地からの便を考え、東京代々木での開催と致します。

一筆舌に尽くしがたい被害をもたらした東日本大震災勃発を受け、私ども「天使のほほえみ」は、幹部・会員結束して使命達成に向う事が、急務になって参りました。ぜひ一般会員の方は勿論、幹部の方々は万難を排し、代々木一泊研修会にご参集下さい。

幸い会場は、新しく模様替えされた「代々木オリピック青少年総合センター」で、明治神宮に隣接し、本殿まで約20分の至近距離にあり、早朝の参拝に絶好のところにあります。六階からは遙かに富士が望まれ、総ガラスの食堂から四季の森の移り変わりが楽しめる素晴らしい環境です。足のご不自由な方もエレベーターがあり、楽にご移動が可能です。私どもに託された使命を心

から受け止め、素晴らしい講話をお聞きし、天皇国日本のいのちが永遠に輝き、世界に貢献し続ける事ができますよう、友人・ご家族をお誘いの上、代々木にぜひおでかけ下さい。お近くの方は通いでのご参加も可能です。なお飛行機でご参加の方は「格安航空券」をお早めにお求め下さい。

### 記

日時 10月29日(土) 13:00～30日(日) 昼食後解散  
場所 東京代々木青少年総合センター(小田急線参宮橋駅徒歩7分)  
講師 鎌田理事長、他  
参加費 全日程ご参加 6,000円(食費も含む)  
通いの方 一日当り 1,000円(食券は各自で購入下さい)

### 会員による「和歌」の紹介

- 生かされて 卒寿を迎えて ありがたや 祖国と家族に 感謝捧げむ
- よきよみは 読みて磨かむ わが心 家をよくせむ 國をよくせむ
- いかにせば この國よぞ なるらむ 寝ても覚めても 愁いぞ深し
- ありがたや 外敵内患 あればそ 祖国も我も ふるいたたなむ  
(静岡県・平岡辰夫)
- 両陛下 被災の町に 立ち給ひ しずかに深く 祈り給へり
- 両陛下の ご巡幸続く 被災地に 希望の灯火 点りゆくなり
- いかばかり 悲しめる人ら 慰められむ 民悲しみ給ふ 大御心に
- 日本の 行く手はいかに 難かるも 大御心に 副ひて生きなむ  
(東京都・岩田幸枝)
- 被災者の あんな笑顔は 初めてと 町長の言う 両陛下の慰問
- 我いまだ たった九十の 青年と 晴れやかに言う 日本の志士は
- 七とせの 多難をしのいで はやぶさの カブセル地上に ピタリと落ちる  
(神奈川県・野田富美子)

★……会員各位の「和歌」を募集中です。奮ってご応募下さい。……★

持ち物 筆記用具・ねまき・洗面具(シャンプー・石けんはあります)  
(詳細は同封のチラシをご参照下さい。)

### 「天使のほほえみ米子講演会」開催のお知らせ

天使のほほえみの首都圏以外の講演会として初めて、鳥取県米子にて開催致します。米子市周辺の方々はもちろん、近県の方々もぜひご参集

下さり、母体保護法改正に向け皆でお腹の赤ちゃんを守り尊ぶ運動を展開しましょう。  
日時 9月18日(日)午後講師 鎌田理事長  
場所 未定 一詳しくは追ってご連絡致します。  
連絡先 米子 今岡祐一 7085-922-2470

### (三ページ後段より続き)

今にして思えば、日本弱体化の方策の一つで、人工中絶は「経済的理由」ということで許可になりました。「白金も黄金も玉もなに何せむに、勝れる玉、子にしかめやも」(山上憶良の歌)どおり、日本は昔から子供を大切に、貧しくとも明るく育ててきました。それなのに前述の法律が出来るや、「何も沢山の子供を産み育て、貧乏や忙しさに追われる必要はない。」と思うようになってしまいました。一後略

